

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年11月24日更新

事務事業名	介護給付適正化事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 米澤伸仁
	施策	16	高齢者の自立と社会参加の促進		所属課	高齢者支援課	担当者名 緒方紀史子
	施策の柱	50	高齢者支援体制の充実		所属班	包括支援センター班	(内線) 2145
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	成果優先度評価結果
	介護	11	3	1	11583		コスト削減優先度評価結果
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	介護認定者(介護サービス受給者)の増加に伴い、介護給付費が増加することで、介護保険料も上げざるを得ない状況になっている。27年度から(第6期)の保険料基準月額が5,400円(年間64,800円)、介護給付費は26年度は35億円に達している。これを抑制するには、適切な認定、真に必要なサービスを公平かつ適切に提供することが必要であり、この結果を次期保険料の見直しの際に反映させたいと考える。 ○平成18年4月に介護保険法が改正され、地域支援事業の中に介護給付等費用適正化事業が創設された。(第115条の45第3項第1号) ○今後も高齢者人口の増加に伴い、介護保険制度を利用する高齢者の増加が予想され、介護給付費は増加する。
【業務の流れ】	【業務委託】介護の給付に関して、精通している事業所への委託契約の締結 【業務内容】(1)ケアプラン点検：居宅介護(介護予防)サービス計画を徴取し、適切なケアプランであるか等に目をつけて点検・指導を行う。(2)住宅改修点検：住宅改修事前確認・竣工調査等による点検を行う。(3)福祉用具点検：福祉用具の必要性や利用状況等の点検を行う。(4)縦覧点検：請求明細書と提供されたサービスの整合性の点検を行う。(5)医療情報との突合：後期高齢者医療・国民健康保険の入院情報等と介護保険の給付情報の整合性の点検を行う。(6)介護給付費通知：本人(家族)にサービスの利用状況・費用等について通知する。
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	支給限度額があるため介護サービスの制限を受けるようなイメージがあり、サービスが十分使えない感じがするので、利用者負担(1割)の減免措置の要望がある。 認定も受けていないのに高い介護保険料だけ払っている等の声がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動)27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
随契によるくまもと健康支援研究所への委託契約の締結、委託料の支払い	随契によるくまもと健康支援研究所への委託契約の締結、委託料の支払い
【業務内容】(1)ケアプラン点検(2)住宅改修点検(3)福祉用具点検(4)縦覧点検(5)医療情報との突合(6)介護給付費通知	【業務内容】(1)ケアプラン点検(2)住宅改修点検(3)福祉用具点検(4)縦覧点検(5)医療情報との突合(6)介護給付費通知
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ア 要支援・要介護認定者数	人
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市介護保険事業	(単位)
	→ア 保険料収納額(現年度)
	千円
	→イ 介護給付費
	千円
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
介護保険事業の円滑な運営を図る。	(単位)
	→ア 介護保険認定者の利用率
	%
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠	
この事業は、受給者に適切なサービスを提供することで、介護保険制度の信頼を高め、介護保険事業の円滑な運営につながっていく。このことは、この事務事業の上位基本事業「高齢者の支援体制の充実」の意図「高齢者を支援する体制が整い、適切な介護支援を受けられる」に結びつくので、その成果指標「介護保険認定者の利用率」とした。利用率は、全国・県ともに平均80%である。	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 人		2,231	2,360	2,470	2,414				
	イ									
② 対象指標	ア 千円		721,191	768,855	800,000	837,126				
	イ 千円		3,116,694	3,238,333	3,616,960	3,669,355				
③ 成果指標	ア %		82.5	80.3	80	84.4				
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円		182	526	200			
		都道府県支出金	千円		91	263	100			
		地方債	千円							
		その他	千円			296	113			
		繰入金	千円			263				
		一般財源	千円				100			
	(A) 事業費計	千円	0	273	1,348	513				
人 件 費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0				
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0				
	正規職員従事人数	人	2	0	1	0				
	延べ業務時間	時間	106	0	160	0				
(B) 人件費計	千円	422	0	637	0					
トータルコスト(A)+(B)	千円	422	273	1,985	513					

事務事業名	介護給付適正化事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 介護や支援が必要な高齢者が、介護給付サービスや介護予防事業を利用して日常生活を営むために介護認定を受け、利用限度額内の自己負担可能な範囲でのサービス利用であるから目標値80%は妥当な設定である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費(委託料)は、業務従事者の人件費等である。ケアプラン点検等は専門知識をもった者でなければ適切な点検・指導・助言ができない。今後も委託による対応を行う。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 委託契約に係る事務や事業所からの過誤報告に係る必要最小の業務時間である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 法に規定された事業であり、保険者として適正に負担している。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 この事務事業は保険者(市)が行うものである。

3 評価結果の総括 (CHECK)

継続している事業であるので、実際の過誤調整額は減ってきている。点検を行うことで、事業所やケアマネの介護保険制度への理解を深めることができた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						